

磐城公論 毎月(二回)十五日三十日發行 編輯兼發行人 山田政好 印刷所 加納活版所 發行所 磐城公論社 電話四〇八番 廣告料 五號活字 行五十錢 場所指定 十錢 增刊 定價 一月 十錢 一年 十元

光榮ある普選 第一次總改選の門出に 識見ある新人を送れ

普選第一次町村會議員總選舉も切迫して来た。推す人も、推される人も、選ぶ人も、選ばれる人も、今よりして異様の感興湧き起つてやまないだらう。選挙は政治の第一段階ではあるけれど、一國、一縣、一町、一村の政治を明るくするも、暗くするも、又善くするも、悪くするも一に懸つて選挙にあるが故に選挙は政治の第一義であらねばならぬ。

政界の革新は選挙界の廓清に待つ。選挙界の廓清は選挙人たる有権者の自覺と政治道徳觀念に歸す。

讀者諸賢に於ても、萬々御承知の通り現下日本の政界は、黄金の魔力が殆んど絶對勢力を逞うして政治社會を徹底腐敗墮落せしめて居る現實を確認してやまぬ。金一山を以つて一國の選良たる代議士は賣女の如く、奴隷の如く賣買取引される。「政治は力ならで政治は金錢なり」

時潮を理解し識見ある新人を選べ

時代思潮、世界思想は急調に流轉進歩しつゝある。天保時代の舊思想を以つて昭和の新時代に生きんとするは、是れ甚しき時代錯誤といはねばならぬ。天保銭は現代に通用せぬさればとて半可通の舶來思想をソツクリそのまゝ輸入し、現代日本に當て箴めんとしても、是れ又無理な注文である。

管見

山本宣吉代議士がやられた。やられた人は一國の選良、やつた人は國家の干城。陛下の赤子として共に正真正正の大日本帝國の臣民である。山本代議士のもつ思想の是非は免れに角「殺人」は最大の暴力沙汰にして極悪の行爲だ。暴力を以つて、最大極悪の直接行動を以つて、思想に對す。

彈擊

極近或民政黨系記者の打ち明け話を親しく聞き、筆者はわが身に引き換へ轉た感慨無量であつた。語を寄す！石城の新聞記者諸君!! 斷じて憎まれ役の政黨記者ごなる勿れ!!!

日本は飽くまで日本として、独自の國柄、政治思想、主義、傾向を有せねばならぬ。而も「世界の大日本」建設の手段は飽くまで合法的、漸進的建設的方法によらねばならぬ。生半可なる西洋舶來の主義、思想、ソノマ、を以つては到底新日本の創建は望まれぬ。

不動澤炭礦 内郷村白水、不動澤炭礦は此度大々的に事業を擴張して新斜坑を開き着炭期も迫つて来た。愈々出炭の暁は坑夫を増員して全力を傾倒して奮闘する由。

菊地氏令息結婚 此度不動澤炭礦々長菊地傳一郎氏令息傳重君は栃木縣某富豪令嬢と結婚された。新夫婦の將來の祝福多からん事を。

新陣容成れる 豊間大敷網 昨今は天災のためあまり好成绩を挙げ得なかつた豊間大敷網は今年こそ死力を盡して大奮闘せ

知人消息 諸橋元三郎氏 推し寄せ殺到し來る文化的搾取群の迎接に對して奇警語を浴せて微笑して居る。毎日二人半の搾取群に接するやうな。氏は文化業者應接係として三井三菱、安田等の天下第一流の銀行會社にあつても完全にその任を果すだらう。

地方新聞記者 たるまは辛い哉。殊に就中政黨的色彩濃厚なる所謂政黨記者に至つては、政黨といふ公的立場に嚴立して、一にも黨勢擴張二にも反對黨及黨人彈撃を果敢に闘争行進せねばならぬ。政黨の旗持 黨人の提灯持する政黨記者の心中誰か知らう!!

謝辭 本聯盟に對して熱切に忝うしたる各位に感謝の熱辭を捧ぐ。 筆自由聯盟 贊援者各位 山田勇太郎氏 中村梅三郎氏 安部六三郎氏 山田勇太郎氏

多面多角にして男性的 中村梅三郎氏 は陰性に於て沈潜の性情であらう。安部六三郎氏 の性向は古典的にして懐古的であらう。三氏三様の特有の性格、性情向は將に三支店(七七、常磐、農工)の營業振りにまで反映してやまぬだらう。

聖人孔子は「悲しんで傷る、勿れ」と垂訓された。斯の聖語を氏に捧げて愛妻と愛兒のために冥福を祈る。

山田勇太郎氏 某月某日、某銀行支店に記者は漫談最中、ドアを排して輕快に訪る、老紳士あり。是れなん茨城縣土浦なる實業家岡本儀兵

特別賛援者芳名

伏見彦衛 小野晋平 山崎吉平 鈴木辰三郎 山崎清三 加藤丈夫 鷺清昇 金成金三 山崎登三 江口忠一 多田井笑次郎 猪狩庄平 高田清二郎 佐藤岩次郎 草野七五三之助 齋藤勝原 佐藤榮吉 星野清吉 田島忠造 櫛田榮太郎 大谷久藏 關内榮助 根本品藏 阿部唯次郎 永山勇吉 高橋龜松 山野邊東次郎 山田勇太郎 安部六三郎 柏原眞吾 酒井清 綠川喜三郎 大屋商店

石山治三郎 鈴木清利 大村一郎 坂田藤助 中野勇吉 鈴木與一 佐川洋服店 駒場四郎 三井吳服店 坂本紙店 丸本紙店 鈴木彌米 銘近盛馬目支店 四倉町柏屋旅館 石城郡小學校長會 第三區 公立學校長懇話會 磐城炭礦株式會社 入山探炭株式會社 古河鑛業株式會社 小田炭礦株式會社 五十嵐炭礦株式會社 浪花炭礦株式會社 磐城セメント株式會社 四倉工業所 湯本信用無盡株式會社 磐城共濟病院 磐城建物株式會社 常磐銀行平支店 二本松電氣株式會社 小名濱支店 常磐工業株式會社 磐城無盡商會 植田運送合資會社 河田鐵工場

平西洋料理業組合 平運輸株式會社 石城銀行組合 平藝妓屋組合 平料理屋組合 四倉藝妓屋組合 平町旅館組合 小名濱町 鈴木木榮 高木保 立花雄七 赤井村 村長根本忠松 村議草野三郎 村議松崎松太 江名町 町長河野嘉藏 吉田正雄 豐間村 豐間大敷網事務所 川井重之 川前村 村長佐藤三郎 局長永山龜太郎 小野新町 町長宗像德彌 東部電力株式會社 小野新町營業所 小野新町銀行組合 小野新町玉陽組合 材木商高橋龜二郎

茨城縣土浦町
岡本儀兵衛

平町 電話 營業部十二七番 一般用十二七番
山崎合名社

赤心堂病院

高久病院

藤沼醫院

四倉鐵工所
西山惠一

鯉節蒲鉾製造
折詰類仕出し
藤市號 遠藤市松
平町一丁目(電話三〇五番)

生徒募集
四月四日午前十時入學式舉行
學則請求ノ方ハ郵券二錢封入ノ事
平町(電話四四五番)
文部大臣認可 **平陽女學校**

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
平町 電話九・三九番

平土木監督所長
小林清吉

產婆看護婦生徒募集
申込期間四月八日迄
平町南町(電話三〇七番)
平產婆看護婦會
清野キヨ

磐城共濟病院組織
內科 小兒科 (院長每日診療)
院長 醫學博士 難波
副院長 醫學士 五十嵐雄二
內科部長 醫學士 中西林藏
外科部長 醫學士 中野憲介
外科部長 醫學士 鈴木退輔
每日曜手術 醫學博士 鈴木退輔
產婦人科 女子泌尿科、レントゲン科
產婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
X光線科
主任 醫學博士 難波
本院醫事法制囑託 法學士 岡澤忠治
本院主事 賀澤忠治
◎御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所(共濟病院內)十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所(共濟病院內)十二月一日ヨリ開始
一救療所(共濟病院內)十二月一日ヨリ開始
平町南町 電話六四一番 **磐城共濟病院**
入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集